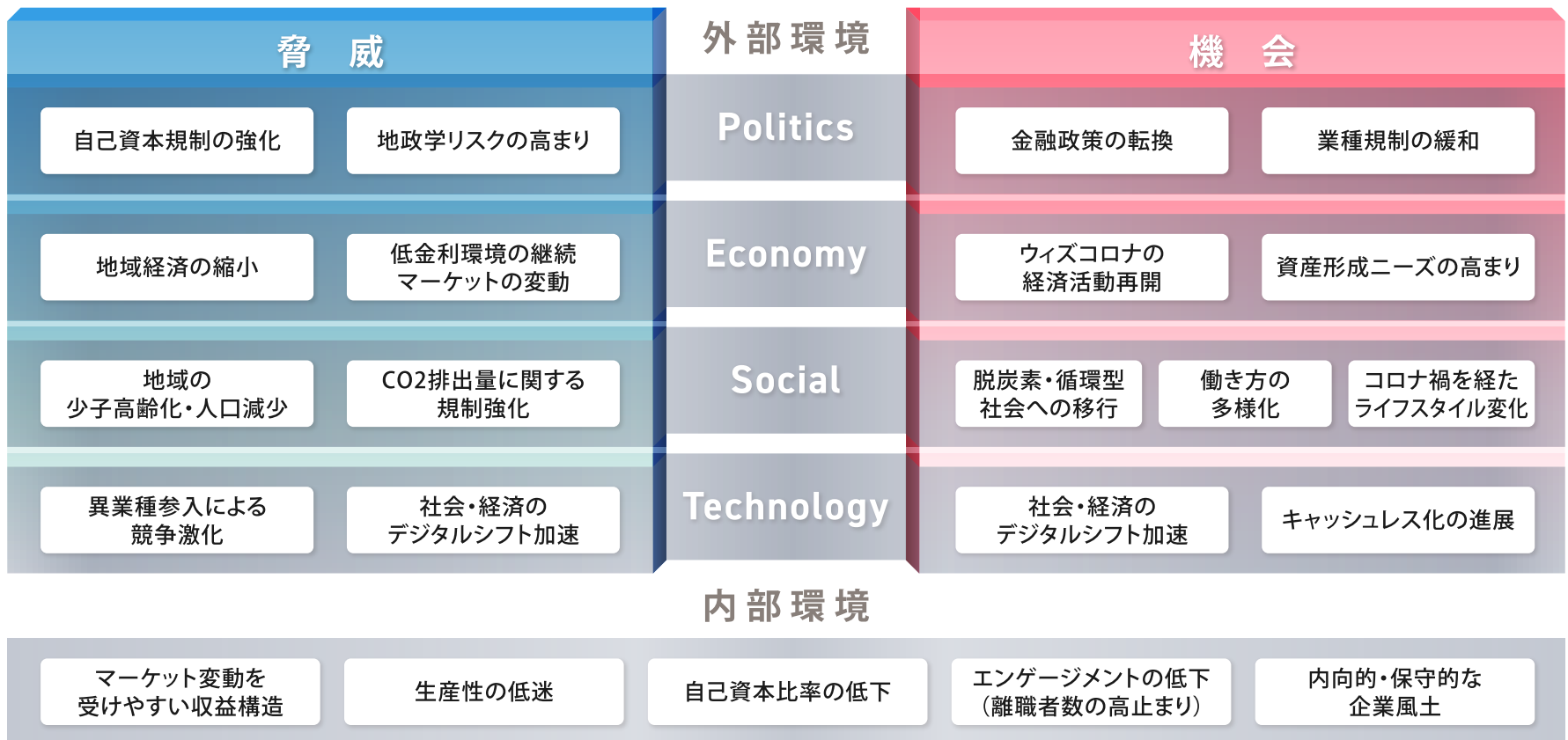


# 百十四グループ「長期ビジョン2030」

2023年3月

# 百十四グループを取り巻く環境

- 外部環境では金融政策の転換期にあるものの、中長期的には地域経済の縮小とそれに伴う競争激化から依然として厳しい収益環境にある。
- 一方、業種規制の緩和等により取り組むことのできる領域が拡大しつつある中、百十四グループを取り巻くサステナビリティに関わる重要な社会課題や環境変化について、機会とリスクを把握し、ビジネスを変革することで経営のサステナビリティを高めていく必要がある。



# 百十四グループが取り組むべき重要課題（マテリアリティ）

- 取り巻く環境を踏まえ、百十四グループが取り組むべき重要課題を「百十四グループマテリアリティ」として設定する。
- 百十四グループは、各マテリアリティの機会とリスクを把握し、リスクの低減に努めるとともに、事業機会の創出につなげていく。

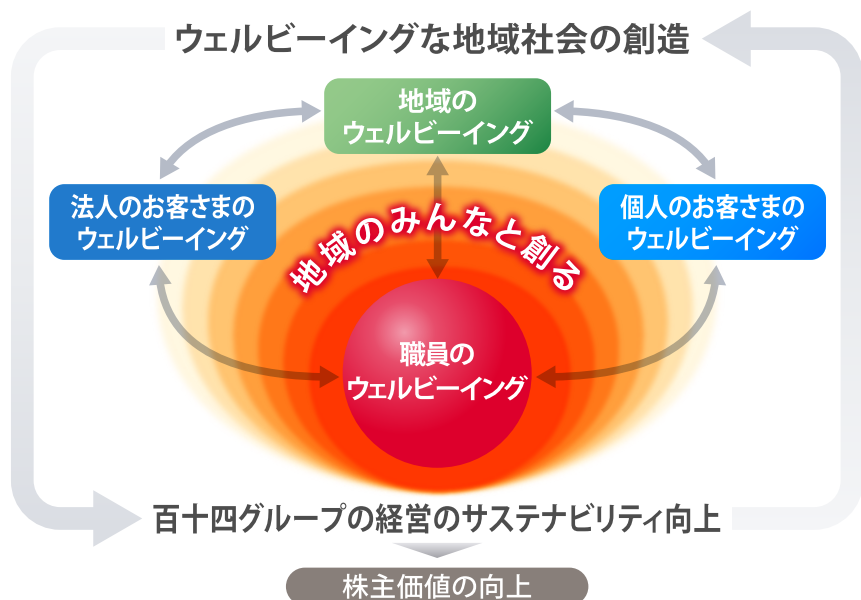
| 百十四グループマテリアリティ      | 機会とリスク   | 主な取組み   | サステナビリティKPI  | SDGsのゴール  |
|---------------------|--|---|--|---|
| 地域経済活性化への取組み        | <b>機会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域活性化に向けた産学官金連携領域の拡大</li> <li>● 地域企業の経営課題の高度化・多様化に伴うコンサルティングニーズの拡大</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地方公共団体等との共創体制の構築による「まち」の活性化</li> <li>● 百十四グループによる法人のお客さまの課題解決に向けた伴走</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の課題解決に向けた取組み件数：150件(2030年度までの累計)</li> <li>● 法人のお客さまへのコンサルティング等の提供件数：年間3,000件(2030年度)</li> </ul>               |    |
|                     | <b>リスク</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の人口減少・経済低迷による持続可能性の低下</li> <li>● 地域企業の経営課題への対応遅れによる企業業績の悪化</li> </ul>              |   |  |   |
| 人生100年時代への対応        | <b>機会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 人生100年時代に向けた資産形成・資産運用ニーズの拡大</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 百十四グループによる個人のお客さまの一生のライフデザインへの伴走</li> <li>● 将来世代に対する金融教育の実践</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 資産形成をサポートする顧客数：16万人(2030年度)</li> <li>● 金融教育受講者数：1万人(2030年度までの累計)</li> </ul>                                     |    |
|                     | <b>リスク</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢化社会の更なる進展による社会構造変化への対応遅れがもたらす競争力の低下</li> </ul>                                     |   |  |   |
| 多様な人材が活躍・成長できる環境の整備 | <b>機会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 職員のウェルビーイング実感による人材力の持続的成長</li> <li>● 多様な人材の活躍推進による新たな価値創造</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● D&amp;I推進による多様な人材が活躍できる職場環境の整備</li> <li>● 挑戦機会創出による「働きがい」と、ワークライフバランス充実による「働きやすさ」の向上</li> <li>● 健康経営推進に向けた健康増進施策の実施</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● エンゲージメントスコアの持続的向上</li> <li>● 女性管理職比率:30%以上(2026年度末) ※2026年度までに再設定</li> </ul>                                    |    |
|                     | <b>リスク</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会構造変化や価値観の多様化への対応遅れによるエンゲージメント低下及び人材流出</li> <li>● 職員の生活の質(QOL)低下による人材力低下</li> </ul> |   |  |   |
| DXの実現と地域社会のデジタル化    | <b>機会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタル技術の進展による業務・サービスのデジタルシフト</li> <li>● 地域社会のデジタル化に向けたソリューションニーズの高まり</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタルを活用した業務プロセス改革及びデジタルチャネルの高度化</li> <li>● SNSやホームページ等のコンテンツ拡充</li> <li>● 百十四グループによるお客さまのDX化推進</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタルで繋がる顧客数：40万人(2030年度)</li> <li>● ICTコンサルティング取組み先の倍増(2030年度)</li> </ul>                                       |   |
|                     | <b>リスク</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタル化への対応遅れ及び異業種参入による競争力低下</li> </ul>  |   |  |   |
| 気候変動等、環境課題への取組み     | <b>機会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境課題解決に向けたファイナンス・ソリューションニーズの高まり</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 2050年カーボンニュートラルに向けた脱炭素・循環型社会への率先した取組み</li> <li>● サステナブルファイナンス等によるお客さまの脱炭素化に向けた取組みの強化</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>● GHG排出量(Scope1・2):2013年度比50%削減(2030年度)</li> <li>● サステナブルファイナンス実行額:5,000億円、うち環境系2,000億円(2021-2030年度累計)</li> </ul> |  |
|                     | <b>リスク</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 気候変動等への対応不足による社会的信頼の低下</li> <li>● 異常気象の発生や脱炭素社会への不適応に伴う地域企業の業績悪化</li> </ul>          |   |  |   |
| 持続可能な経営基盤の構築        | <b>機会</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ガバナンス態勢の高度化及び収益構造改革等による事業基盤の強化</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● ガバナンスの強化</li> <li>● 収益構造改革による企業価値の向上</li> <li>● 資本戦略の強化及びリスク管理態勢の高度化</li> <li>● システム・デジタル基盤の強化</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 政策投資株式の計画的削減</li> <li>● ステークホルダーとの対話拡充</li> </ul>   |  |
|                     | <b>リスク</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ガバナンスの不足による社会的信頼の低下</li> <li>● サイバー攻撃、災害等への対応遅れによる事業活動中断や社会的信頼の低下</li> </ul>         |   |  |   |

# 百十四グループが長期的にめざす姿（長期ビジョン）

- 「百十四グループマテリアリティ」の解決に向け、百十四グループが長期的にめざす姿を「長期ビジョン2030」として定める。

## 長期ビジョン 2030

総合コンサルティング・グループの進化により、  
地域の人々とウェルビーイングな社会を創造する



### ビジョンに込めた想い

#### 私たちが実現したいこと

- 私たちの存在意義は、お客さま・地域と対話を重ね、知恵を出し、汗をかき、その課題解決に全力を尽くすことで、“地域の人々”がよりよくあり続けるための力になることです。
- お客さま・地域の課題が多様化・複雑化する中、私たちはその解決に向けたパートナーとして伴走していくことで、“地域の人々”と一緒に環境・社会価値の向上したウェルビーイングな社会を創っていきます。

#### その実現に向けて

- 私たちは「金融サービスの高度化」と「非金融の領域拡大」により総合コンサルティング・グループとしての機能を進化させ、お客さま・地域の課題解決力をさらに強化していきます。

### 環境・社会価値

重要な環境・社会課題の解決により、“地域の人々”がよりよくあり続けられるウェルビーイングな社会の実現

- グループマテリアリティに係るサステナビリティKPIの達成

### 環境・社会価値と 経済価値の両立



…ビジョン実現により生み出す価値…

収益性向上と経営基盤強化による百十四グループの経営のサステナビリティの向上

#### 長期的にめざす水準

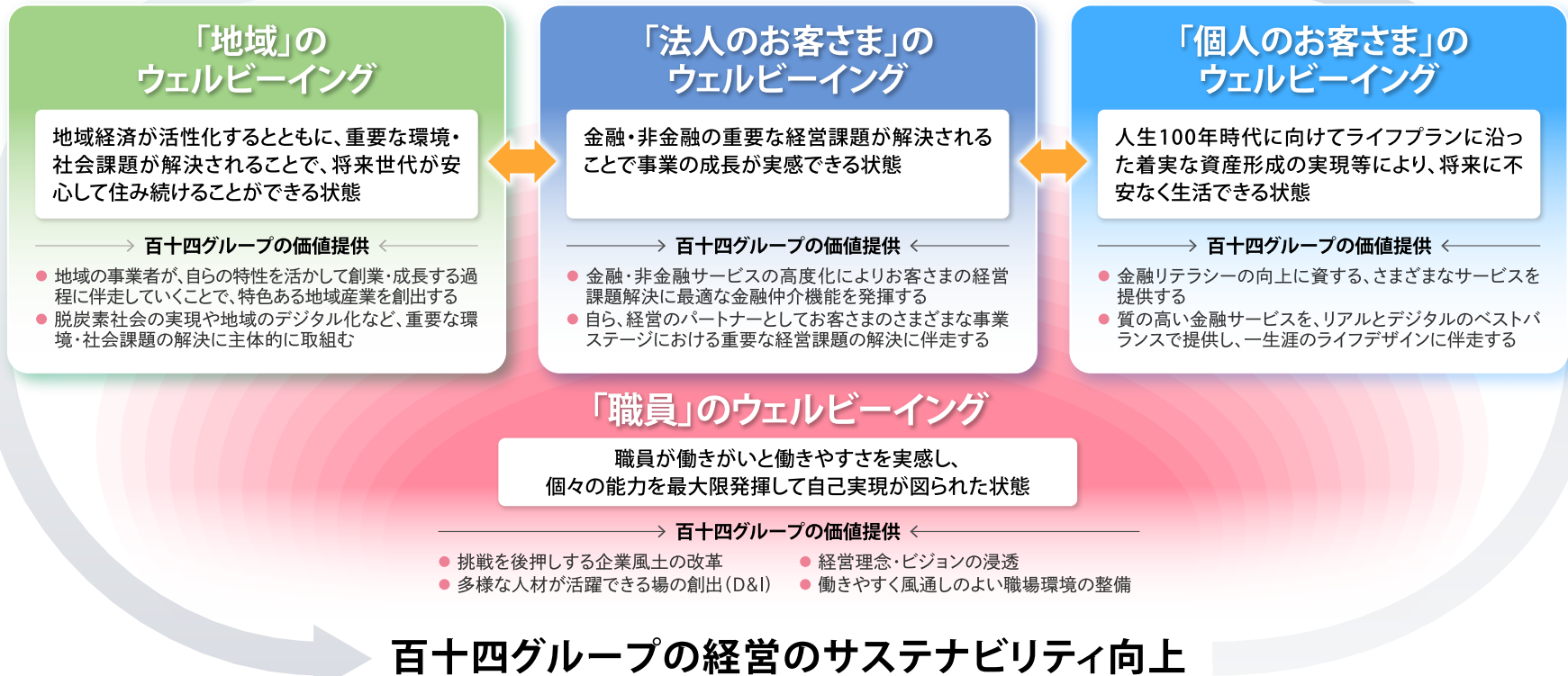
- 連結ROE 5%程度
- 連結自己資本比率10%程度

### 経済価値

# ウェルビーイングな地域社会の創造

- 百十四グループは、“地域のみならず”のウェルビーイングな状態を以下のとおり定義したうえで、職員のウェルビーイング向上を原動力に、これらの実現に向け価値提供していく。

## ウェルビーイングな地域社会の創造

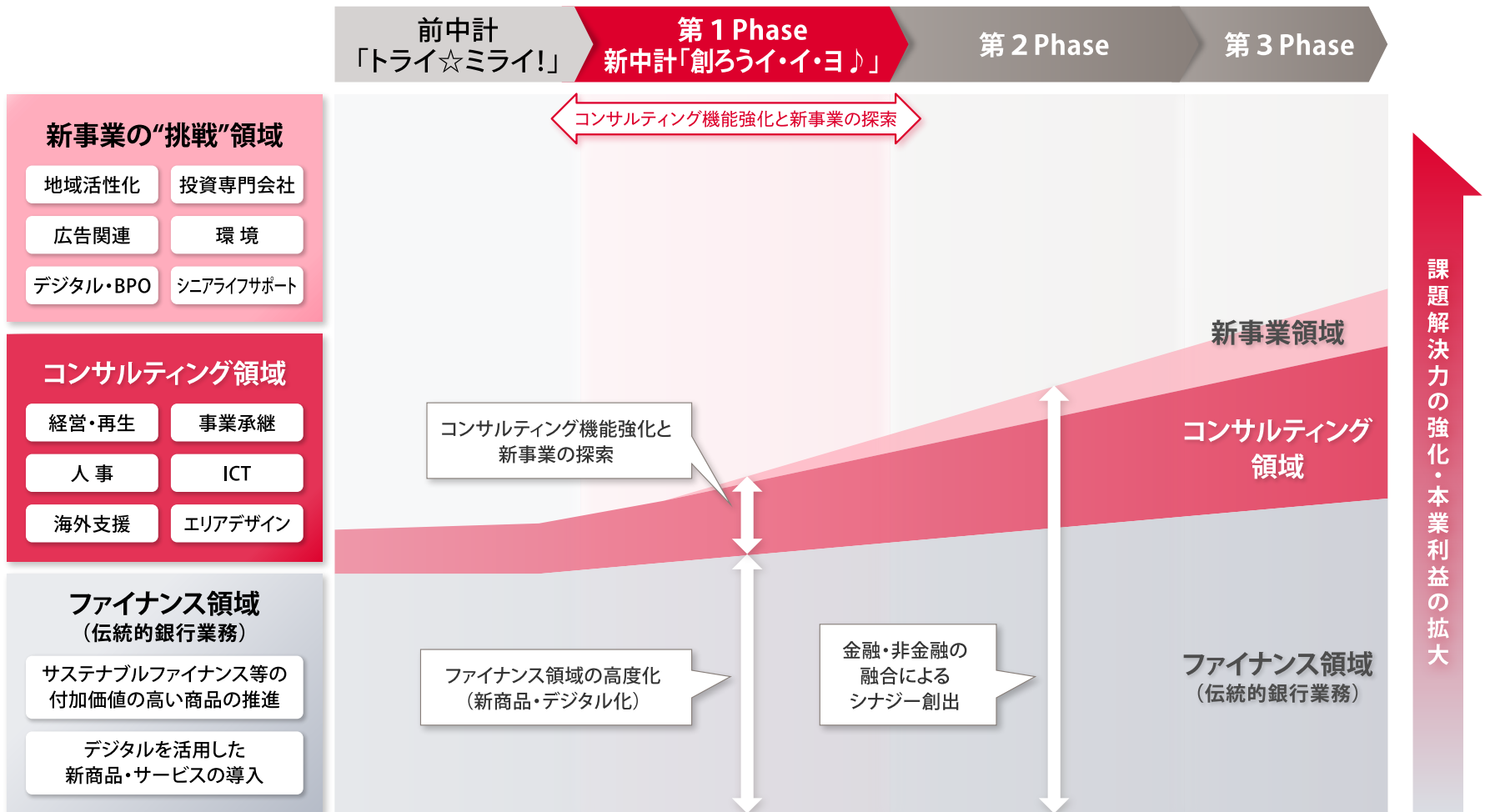


### 株主価値の向上

- 中長期的な企業価値向上
- 透明性の高い情報開示
- サステナビリティ経営の実践
- 株主還元の充実

# 総合コンサルティング・グループの進化

- 百十四グループは、「金融サービスの高度化」と「非金融の領域拡大」により総合コンサルティング・グループとしての機能を進化させ、お客さま・地域の課題解決力を強化するとともに本業利益の拡大をめざす。





# 百十四グループの価値創造プロセス

- 百十四グループはこれまで培ってきたさまざまな資本を活用し、普遍的な価値観である経営理念のもと、6つのマテリアリティに基づいた事業展開により、長期ビジョンでめざす環境・社会価値と経済価値の両立を実現させていく。

